

大浦地区振興会だより

～大浦にお住まいのみなさん全員が大浦地区振興会の会員です～



振興会長 新年のごあいさつ



大浦地区振興会

会長 津崎 勝志

大浦地区の皆さま、明けましておめでとうございます。初春を迎え皆さまには、つつがなく新年をお迎えになられたことと、お喜び申し上げます。

本年度計画しておりました諸事業は、おかげを持ちまして順調に推進することができました。これも振興会役員や部会員の方々、地区住民皆様のご支援ご協力の賜物と、心から感謝しているところです。

思えば去年はラグビー・ワールドカップが開催され、にわかファンが急増するなど大いに盛り上がったところです。

かくいう私もその一人でしたが、体格や体力が劣っているハンデを、膨大な練習量と「ワンチーム」を合い言葉にした団結力でカバー。史上初のベスト8に進出した快挙に、日本中が感動の渦に包まれました。

優勝した南アフリカの主将コリシは言います。「僕たちの国にはいろいろな問題がある～（中略）～一つの目標に向かって一丸となり、国のために戦った。一つになれば何かを成し遂げられることを見せたかった」と。

私は村づくりもまさしく同じではないかと思えます。

少子高齢化、後継者不足など、大浦地区も地域課題を多く抱えています。これらを解決するには、この「ワンチーム」の考え方が必要ではないでしょうか。地区住民が思いを一つにして、大浦というチームのために手を取り合って頑張れば、大抵のことは解決できると考えています。

おりしも、昨年5月には元号が「平成」から「令和」に改元されました。新元号令和には「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という意味が込められているそうです。

「“小さくてもキラリ”と光る大浦 ～交流を通じて住民が生きがいを感じ、支え合うむらづくり～」をこの和をもって進めてまいりたいと考えています。「大浦が変われば、有明町が変わる。有明町が変われば天草市が変わる。天草市が変われば日本が変わる」。「まちづくり、今やらなくていつやるの。今でしょ！」

今後とも当振興会に対して、変わらぬご指導・ご鞭撻賜りますよう心からお願い申しあげると共に、皆様の健康と活躍を祈念し新年の挨拶とさせていただきます。

令和二年一月



今後の行事予定

2月

- 一人暮らし 弁当配布事業
- ・2月2日（日） 午前8時～
- ・大浦地区コミセン

3月

- 有明地区津波避難訓練
- ・3月1日（日） 午前9時～
- ・有明町内一斉

男子厨房に入る 健康の源は食生活から

12月12日（木）、大浦地区コミュニティセンターで、食生活改善推進委員協議会大浦支部主催で「男の料理教室」が開催されました。

当日は、天草東保健福祉センター管理栄養士・松下美穂さんの「健診からみる大浦地区の健康状況」のお話の後、食改メンバー6人から男性17人が指導を受けながら、ご飯・魚のカレー・ムニエル・鶏チリ・大根とツナのサラダ・きのこことわかめの卵スープのメニューに挑戦。

手際よくサワラをおろす男性もおられ、ボリューム満点、味も満点の品々ができあがりしました。



ちびっ子コック参上 みんなで楽しくケーキづくり

12月25日（水）、大浦地区コミュニティセンターで親子料理教室（クリスマス会 in 子どもサロン）を開催しました。参加した子どもたちは17人。食生活改善委員・交流活動部会員・保護者計9人と一緒に食のお話を聞いた後、調理しました。

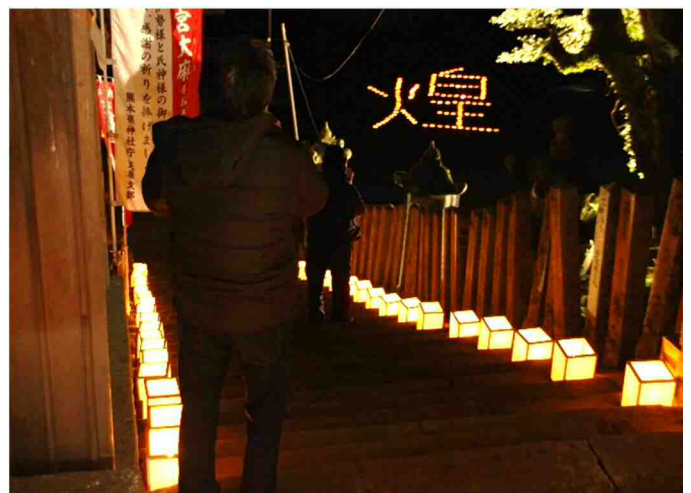
この日のメニューは、ご飯・クリームシチュー・鶏チリ・マカロニサラダ・クリスマスケーキの4品。子どもたちは委員の皆さんの指導を受け、なれない包丁さばきながら熱心に調理していました。できあがった料理は、おいしくいただきました。



令和最初の一文字 光り輝く一年に 大浦阿蘇神社ライトアップ事業

大浦阿蘇神社で、12月31日（月）から元旦にかけて、交流活動部会員が中心となってライトアップ事業を実施しました。同事業は今年で10回目。振興会の恒例行事となっています。

今年も投光器や灯籠を使い、境内をきれいに彩りました。また、タコつぼ125個を使った文字は「煌（コウ、きらめく）」。今年は「令和」最初の新年でもあり、「今年一年が皆さんにとって、火が燃えさかり輝くばかりの新年になるように」願って、採用しました。



善意をありがとうございました（1月20日まで受付分・敬称略）

（寄附種類） （寄附者） （続柄・物故者名） （地区）

香典返し 廣岡キミヨ 夫・廣岡義夫 東

